

令和 3 年 第 1 回  
京田辺市議会定例会

一般質問(質問項目・要旨)

傍 聴 用

京 田 辺 市 議 会

## 3月定例会一般質問日程

月 日	通告順位	議 員 名	ペ ー ジ
3月4日  (木)	1	よしたか ゆ か こ <b>吉高裕佳子</b> (市民とともに歩む女性議員の会)	1
	2	ますとみ り つ こ <b>増富理津子</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	2
	3	えの も と こ う す け <b>榎本 昂 輔</b> (自民一新会)	3
	4	く ほ の り ひ こ <b>久保典彦</b> (自民一新会)	4
3月5日  (金)	5	なんぶ と し こ <b>南部登志子</b> (無 会 派)	6
	6	か わ だ み ほ <b>河田美穂</b> (公 明 党)	8
	7	あ お き こ う じ ろ う <b>青木綱次郎</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	9
	8	き く か わ か ず し げ <b>菊川和滋</b> (N E X T京田辺)	11

※質問時間は、質問答弁併せて60分以内としていますが、今議会におきましては申し合わせにより概ね50分とさせていただきます。

### 1 小・中学校での子どもたちを取り巻く現状について

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策として、教員の負担軽減のためにスクールサポートスタッフを配置させているが、十分か。
- (2) 周囲の理解が進んでいない起立性調節障害やHSC（ハイリーセンシティブチャイルド）と呼ばれる、人一倍敏感な感覚を持つ子どもたちのために取り組んでいることは。
- (3) 令和元年9月議会の一般質問で化学物質過敏症の現状について確認したところ、小学生7名、中学生21名が該当するとの答弁があった。その後の児童生徒への対応は。

### 2 ヤングケアラーについて

年齢に見合わない重い責任を負って、家族の介護や家事を行なう18歳未満の子どもたちをヤングケアラーと呼ぶ。

- (1) 市は、ヤングケアラーについて、どのように認識しているか。
- (2) 教職員を対象に、これまでに関わった児童生徒に関するアンケート調査を行うことを求める。
- (3) 市民の理解も必要であるため、ホームページや広報等で周知を。

### 3 エネルギーの自立に向けて

- (1) エネルギーの地産地消に取り組むことで、CO<sub>2</sub>排出削減と地域の活性化、そして災害に強いまちづくりを目指すため、市と地元企業等が協力して自治体新電力をつくることを提案する。
- (2) また、市民が主体的に取り組めるように、ソーラーシェアリングや市民発電所の設置を促す仕組みが必要だと考えるが、市の見解は。

### 1 安心・安全な教育環境と豊かな学校生活を

公立小学校の学級編制を35人に引き下げる「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案」が2021年2月2日、閣議決定された。小学校の学級規模の一律の引き下げは40年ぶりのこと。

- (1) 少人数学級に対応できる条件整備の現状と課題について問う。
- (2) 小学校での専科教員の配置の推進を。
- (3) 中学校でも少人数学級への条件整備を。

### 2 乳幼児期から学校卒業後までの継続した障がい児支援体制の整備を

- (1) 安心して移動支援が受けられる体制の拡充を。
- (2) 医療的ケア児が通う学校へ看護師の配置を。
- (3) 多目的トイレにユニバーサルシートの設置を。

### 3 街区公園の整備と活用を

- (1) 遊具だけでなく、ベンチなど設置設備の定期的な点検を。
- (2) 地域の実情に即した管理と活用を。

**1 本市の新型コロナウイルス感染症の対応について**

- (1) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の運営体制と実施スケジュールについて問う。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地元企業への支援及びサポート体制について問う。

**2 G I G A スクール構想について**

- (1) 現在の市内小・中学校の I C T 機器を活用した授業の課題について問う。
- (2) I C T 機器を今後どのように教育現場で活用していくのか。
- (3) 教員の I C T 教育スキルの向上について、現在の取り組みと課題について問う。

**3 本市の土地活用について**

- (1) 一休寺に繋がる山手幹線沿いの活性化について問う。(道の駅等)
- (2) 国道 3 0 7 号の沿道の土地利用の促進と 4 車線化について問う。

**4 市民要望**

- (1) J R 三山木駅のトイレの設置・ダイヤの改正 ( J R 三山木駅～京田辺駅間の本数の増便 ) について問う。
- (2) 資源ごみの持ち去り業者の取り締まりについて、市の対応は。
- (3) 市道新田辺駅前線の渋滞について、市の対応と今後の取り組みは。

## 1 新型コロナウイルス感染症への対応・対策について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年1月より緊急事態宣言も発出され、いまだ予断を許さない状況である。これまでの検証及び課題について問う。
- (2) この国難といえる緊急事態においても、本市には副市長が未だ不在となっている。その影響と今後の市長の考えを問う。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響により、ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催が延期となったが、本市もハンドボール競技の会場となっている。現在の状況と今後の取り組みについて問う。
- (4) 2021ツアー・オブ・ジャパン京都ステージの開催が困難な状況と見受けられる。本市のスポーツを通じて地域振興を図る大きな事業であるが、今後も様々な事業が中止や延期が想定される。本市の2021年の地域振興等の取り組みについて問う。

## 2 公共施設について

- (1) 田辺中央体育館や有料公園施設については利用料金の改定が行われたが、その他の各住民センターや学校施設等においては、今後どのように取り組まれるのか市の考えを問う。
- (2) また、各利用団体において、減免制度の適用条件等が異なり、市民が市の施設を利用するうえで整合性が取れていない現状となっている。これに対しての市の見解と今後の対応策について問う。
- (3) 照明設備のある屋外施設（田辺公園野球場・テニスコート、防賀川公園テニスコート）について、今後改修を行うとされているが今後の取り組みについて問う。

### 3 農業者支援について

- (1) コロナ禍の期間が長く続くなか、国や府においてもスマート農業も含めた農業従事者への新たな支援が打ち出されてきている。本市の特産品や農作物別に独自の支援がさらに必要だと考えるが、市の認識を問う。
- (2) 本市において野生鳥獣による農作物への被害が年々大きくなっている。京都府でも先駆的なA I ・ I C T技術を導入することによりスマート農業についての取り組みも行っている。そのようなことも踏まえ、本市の現状と今後の取り組みについて問う。

### 1 新型コロナウイルス感染症の影響と対策

- (1) 本市での感染の特徴とその対策について問う。
- (2) 市財政や市事業への影響と今後の見通し、対策について問う。
- (3) 市内業者や市民生活への影響（失業・廃業・休職・生活保護申請者数など）と今後の見通し、対策について問う。特に所得が激減している業者や市民に対して、市独自の支援策を。
- (4) 医療・介護従事者、教員や保育士に対して、定期的なPCR検査の実施を求める。
- (5) 市長や議員など特別職の報酬の削減を求める。

### 2 普賢寺地域の里山の暮らしを守るために

- (1) イノシシ、アライグマ、ヌートリアの生息数及び生息状況について問う。また、これら害獣被害の実態について問う。
- (2) 現在の害獣被害対策だけでは、被害の拡大は止まらない。実態に即した対策を求める。
- (3) 捕獲された害獣の処分方法や処分地については、近隣市町村が一体となって取り組むべき時期にきている。市の見解を問う。
- (4) 耕作放棄地や荒廃山林・竹林の存在が、害獣の生息を促進していると聞く。このことは、農業従事者の減少や高齢化の影響も考えられるが、一方で市外在住の所有者の影響も考えられる。当事者と協力した取り組みが必要と考えるが、市の見解を問う。

### 3 介護従事者の労働環境の課題

- (1) 新型コロナウイルス感染症のクラスター感染を防ぐためには、定期的



なPCR検査の実施とともに、事業所内及び事業所間における、職員や利用者の感染情報や感染疑い情報の共有化が必要であると考え。市の認識及び見解を問う。

- (2) 居宅訪問を専門とする介護士は、1日に複数の家庭を訪問し介護サービスを提供するが、実際に給料が支払われるのは、正職員でない限り介護サービスを提供する時間だけとなっていることが多い。訪問先から訪問先への移動時間も、本来は労働時間に換算されるべきであると考え。この移動時間分の給料保証と移動費の支払いを。

**1 コロナ禍を生き抜くための施策について**

- (1) 新型コロナウイルスワクチン接種をスムーズに行うための施策は。
- (2) 公共施設入口に「A I 検温モニター」の設置をすべき。
- (3) 図書館などに「図書除菌機」の設置をすべき。

**2 命を守る施策について**

- (1) 避難行動を促すために自力で避難が困難な方を輸送するため、介護タクシー事業者など民間活力の活用を考えては。
- (2) コロナ禍での避難所運営訓練のやり方を考え、市職員も机上訓練だけではなく、実地訓練をすべき。
- (3) 家具などの転倒防止用品購入費用の助成、さらに高齢者・障がい者居宅などへは取り付け費用の支援も考えるべき。
- (4) 避難対策の一つとして「車中泊」対策も考えるべき。  
(駐車場所、エコノミー症候群予防、トイレ対策など)

**3 S D G s の取り組みについて**

- (1) 市の S D G s の取り組みは。(ジェンダー平等など)
- (2) 理解の裾野を広げる取り組みは。
- (3) 多数の部署が連携できる推進本部的な中心部署を設置してはどうか。
- (4) 小・中学校への「持続可能な社会の担い手」の育成、啓発の取り組みをすべき。

### 1 水道事業について

- (1) 京都府は2022年度中に「水道広域化推進プラン」を策定するとしており、各市町村はそれにあわせて広域化への参加も含めた態度を表明することが求められる。本市は広域化について、どのような態度をとるのか、市長の見解を問う。
- (2) 京田辺市内で独自に確保する「自己水源」は、市民生活にとって重要な役割を果たしている。この点での市の見解を問うとともに、今後、「府営水」と「自己水」の割合をどのようにしていくのか、明らかにされたい。

### 2 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) ワクチン接種に関して、その推進体制や、現在の状況、及び課題について、明らかにされたい。
- (2) 感染者への支援について、この間、市内で確認された感染者のうち、「自宅療養者」及び「調整中（自宅待機者）」の、発生状況を明らかにされたい。またそれらの方々への健康観察や生活支援の状況と体制について明らかにされたい。
- (3) 今後のワクチン接種や感染者への支援を万全に進めていく上で、保健所の役割は重要となる。この点で京都府に対し、京田辺市・綴喜郡地域にあらためて保健所を設置するよう市として要望すべきと考えるが、市長の見解を問う。

### 3 市北部の河川改修について

- (1) 現在の防賀川の河川改修の現状と完了の見通し、及びそれを受けた吉

原川改修の見通しについて、明らかにされたい。

- (2) 防賀川について、虚空蔵谷川合流部より上流域の改修についても早急に具体化すべきと考えるが、市の見解を問う。

**1 安全安心のまちづくりに向けて**

- (1) JR大住駅舎のバリアフリー化の進捗状況について再度問う。
- (2) 防犯カメラ設置の進捗と今後の計画について、令和2年度設置時期及び令和3年度計画台数を問う。
- (3) 子どもやお年寄りの見守りに、アプリ導入などICTの活用を推進すべき。
- (4) コロナ禍に対応した、学校等避難所の在り方について、分散避難の考え方を問う。
- (5) 河川の浚渫について、国土強靱化に基づいて、国・府との連携により早期対応すべき案件であるが市の検討状況は。
- (6) 防災広場の進捗と平時を含む活用方法について
  - ア 有事における食料などの支援物資輸送連携について問う。
  - イ 平時における活用の検討について問う。

**2 公共施設マネジメントについて**

- (1) 本施策を推進する組織体制について、専任部署の組織や、専門職員の選任は。
- (2) 包括的公共施設マネジメントへの対応について、外部専門家などへの包括委託を実施する考えは。
- (3) 市民協働の公共施設マネジメントの推進について、市民の声を反映させる取り組みは。
- (4) 公共施設全体の中で多くの割合を占める教育施設のマネジメントについて問う。

### 3 まちづくりの今後について

- (1) 市民活動団体への支援及び広報活動を行い、多くの市民が活躍できる場づくりと市民参画をさらに促す取り組みを構築すべき。
- (2) まちづくり協議会の今後の進め方について
  - ア まちづくり協議会設置における、地域割りの考え方は。
  - イ まちづくり協議会立ち上げ時における市のサポート体制について問う。
- (3) 自治振興費配分の在り方について、脱ハンコ申請及び自治会補助支援等の見える化について問う。
- (4) 区・自治会要望時期の変更について、要望時期の在り方の検討状況結果は。